令和2年度 事業報告書

(第11期事業年度)

自:令和2年(2020年)4月1日 至:令和3年(2021年)3月31日

公益財団法人福田靖子賞基金

目次

- 1 公益目的事業 公1「選考会事業」活動報告及び経過報告
- 2 公益目的事業 公2「研修会事業」活動報告及び経過報告
- 3 管理部門及び寄付に関する報告

※はじめに

令和 2 年度は、世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外における移動や活動の制限が顕著であったため、海外への渡航や海外の音楽家の招聘を中心とする当財団の既定の活動は大きく制限された年度であった。

- 1 公益目的事業 公1 「選考会事業」活動報告及び経過報告
- (1) 令和 3 (2021) 年度「第 10 回福田靖子賞選考会」の参加者募集及び準備 2021 年 8 月 $20\sim23$ 日に本選考を行う「第 10 回福田靖子賞選考会」の参加者募集及び諸準備を行った。

ア) 日程及び会場の検討

レッスン 2021年8月20日・21日 最終審査会 2021年8月23日 会場 都内音楽大学レッスン室 (レッスン) 昭和音楽大学ユリホール (最終審査会)

※2021 年 3 月 31 日時点で、レッスン会場が未定だったが、その後、東京音楽大学中目黒キャンパスのレッスン室をお借りすることが、5 月中旬に決定しました。

イ) 海外招聘審査員

以下の2名より内諾を得ていたが、新型コロナウイルス感染症の状況により、2021年8月に海外から招聘することは現実的に難しいため、2021年4月中旬、いったん招聘を断念し、海外教授にその旨ご連絡して了承を得た。

※内諾してくだっていた審査員(今後の招聘を検討)
バルバラ・シュチェパンスカ(ポーランド/ドイツ)
ロベルト・シューマン音楽大学教授
ヘンリ・シーグフリードソン(フィンランド/ドイツ)
エッセン・フォルクヴァング芸術大学教授

ウ)参加者募集パンフレットの配布

2020 年 12 月より、当財団ウェブサイトで募集要項を公開し、ダウンロードを可能にした ほか、広報協力団体である一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)ウェブサイ トでも募集要項を掲載した。また、ピティナ・ピアノコンペティションで優秀な成績を収 めた学習者・指導者に参加要項を送付する協力を得た。

エ) 書類選考の実施

書類選考には、締切日(3月8日)まで28名(前回32名)の応募を集めた。選考は、福田成康理事長が原案をとりまとめ、選考委員の江口文子氏・黒田亜樹氏・二宮裕子氏・松崎伶子氏による厳正な選考により行われた。

※書類選考通過者(五十音順、地名は居住地、学年は令和3年度のもの)

稲積陽菜(高3、東京都世田谷区)海老原歩実(高3、千葉県柏市)国本奈々(高2、山口県下関市)後藤美優(高2、愛知県豊田市)澤田幸希(中1、北海道札幌市)神宮司悠翔(高1、神奈川県海老名市)中瀬智哉(高1、富山県下新川郡)原田怜(高1、神奈川県大和市)山﨑夢叶(高2、千葉県千葉市)

オ) 書類選考通過者(本選考進出者)の発表

書類選考応募者全員に結果を通知し、当財団ウェブサイトおよび広報協力団体である一般 社団法人全日本ピアノ指導者協会ウェブサイトにて、4月1日に通過者を発表した。

(2) 令和5年(2023年) 度「第11回福田靖子賞選考会」に向けた準備

ア) 日程

レッスン・最終審査会 令和5年(2023年)8月下旬予定

イ)海外招聘審査員の依頼

現在、審査員候補を選定している。

- (3) 福田靖子賞選考会参加者への助成事業
- 以下の国際的音楽研修機会に渡航費を助成し派遣を行った。
- 9月 森本隼太/オーストリア Arsonore 音楽祭派遣渡航費助成

また、海外渡航が非常に難しい状況が続いたため、国内で実施された国際的に活躍するピアニストによる講習会に、以下の通り受講料と交通費半額を助成して派遣を行った。

2021 年 2 月 福間洸太朗(2003 年クリーブランド国際ピアノコンクール優勝者)コン チェルトマスターコース in 柏崎

尾城杏奈 (第6回奨学生) 神原雅治 (第9回奨学生) 岸本隆之介 (第9回奨学生)

(4) 各種コンクールへの「福田靖子賞」(奨学金) 授与

国内のコンクールへ「福田靖子賞」として、海外で学習するための渡航費に使途を特定した た奨学金を授与した。

・第73回全日本学生音楽コンクール中学の部 全国大会第1位の原田怜さん(神奈川県)に15万円授与

2 公益目的事業 公2「研修会事業」活動報告及び経過報告

当年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外教授・ピアニストのマスタークラスは開催できなかった。

期の途中から、インターネット会議システム「Zoom」を用いたセミナー4回を実施し、受講料 34,000円を助成した。

第1回(10/1) 上田泰史先生(音楽学者、東京芸大・国立音大講師)

楽曲について知ること、演奏様式について知ること~ショパンの「ルバート」を中心に考えてみよう

参加奨学生:片山響、神原雅治、国本奈々、須藤帆香、谷昂登、中瀬智哉、森本隼太、山崎夢叶、吉原佳奈、渡辺康太郎

第2回(11/6) 上田泰史先生(音楽学者、東京芸大・国立音大講師)

作品の「説得力」とは何だろう 音楽の修辞学と「聴き手」について知ることの意味

参加奨学生:片山響、岸本隆之介、国本奈々、須藤帆香、谷昂登、中瀬智哉、森本隼太、山崎夢叶、吉原佳奈、渡辺康太郎

第3回(12/10) 山田剛史先生(ピアニスト、国立音大・東京学芸大講師)

音型、音程に「意味」を与える ~古楽的、修辞学的アプローチとは?バッハの平均律を題材に

参加奨学生:片山響、神原雅治、岸本隆之介、国本奈々、谷昂登、中瀬智哉、森本隼太、山崎夢叶、吉原佳奈、渡辺康太郎

第4回(1/21) 加藤真一郎先生(作曲家・ピアニスト、東京芸大・桐朋学園大・国立音大講師)

作曲家は「何」を作曲しているのか?楽譜から読みとる音楽の言葉~ベートーヴェンを例に

参加奨学生:片山響、国本奈々、森本隼太、山崎夢叶、渡辺康太郎

※特記事項(参考)

当財団主催の活動ではないが、ヤマハ株式会社のご厚意により、遠隔ピアノ自動演奏装置「Disklavier」を用いて世界各地の拠点と東京とを結んだリモートピアノレッスンに当財団及び (一社) 全日本ピアノ指導者協会の優秀な若手ピアニストの紹介(受講料無料)を依頼され、の

べ9日間の機会が提供され、当財団奨学生のべ16名がレッスンを受講させていただいた。

8/1 (土) ミシェル・ベロフ先生 (パリ国立高等音楽院教授)

於:ニース音楽院(フランス)

当財団受講生:黒木雪音(第7回)古海行子(第7回)

8/2(日)海老彰子先生(ピアニスト、元浜松国際ピアノコンクール審査委員長)

於:ニース音楽院(フランス)

当財団奨学生:神原雅治(第9回)亀井聖矢(第9回)

9/24(木) ヴラディーミル・オフチニコフ先生(モスクワ音楽院教授)

於:ヤマハ・モスクワセンター

当財団奨学生:三上結衣(第7回)八木大輔(第9回)太田糸音(第7回)

9/25 (金) ナターリャ・トゥルーリ先生 (モスクワ音楽院教授)

於:ヤマハモスクワセンター

当財団奨学生:谷昂登(第8回)尾城杏奈(第6回)

10/26(月)エヴァ・ポブウォツカ先生(ビドゴシチ音楽院教授)

於:ビドゴシチ音楽院

当財団奨学生:吉原佳奈(第8回)

10/27 (火) カタジーナ・ポポヴァ=ズィドロン先生 (ビドゴシチ音楽院教授)

於:ビドゴシチ音楽院

当財団奨学生:片山響(第8回)

12/3 (木) エリソ・ヴィルサラーゼ先生 (モスクワ音楽院教授)

於:ヤマハモスクワセンター

当財団奨学生:尾城杏奈(第6回)谷昂登(第8回)

1/12 (火) 13 (水) ヴラディーミル・オフチニコフ先生 (モスクワ音楽院教授)

於:ヤマハ・モスクワセンター

当財団奨学生:亀井聖矢(第9回)森本隼太(第8回)谷昂登(第8回)

3 管理部門及び寄付に関する報告

(1) 理事会・評議員会等の開催状況

令和2年6月14日 理事会(書面による)

決議事項:第10期事業報告、計算書類およびこれらの附属明細書ならびに財産目録承認の件/理事6名選任の件/監事1名選任の件/第10回定時評議員会招集の件

令和2年6月24日 評議員会

報告事項 第10期(自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)事業報告の件 決議事項 第10期計算書類および財産目録承認の件/理事7名選任の件/監事1名選任の件

令和2年6月24日 理事会

決議事項:代表理事(理事長)選定の件/評議員選考委員選任の件/評議員候補者推薦の件/特定資産管理運営規程及び特定資産取扱要領の承認の件

令和2年7月2日 評議員選考委員会(書面による)

決議事項:評議員1名選任の件

令和3年3月30日 理事会(書面による)

決議事項 令和 3(2021)年度事業計画及び収支予算 承認の件

(2) 寄付金収入に関する報告

令和2年度は、末尾別表のとおり、計2,146,360円の寄付をいただいた。 (※末尾別表参照)

(3) 公益財団法人の運営等に関する情報公開

内閣府へ、令和2年6月30日までに「令和元年度事業報告等」を、また令和3年3月までに、「令和3年 度事業計画書等」の定期提出書類を提出するとともに、決算書類を、当財団ウェブサイトに掲出し、活動 内容を逐次ウェブサイトにアップロードしている。

(4)業務執行体制等

福田成康理事長、加藤哲礼理事・事務局長が日常の業務を行っている。また、経理業務においては、土屋 宗一税理士事務所(担当:大河原透氏)に伝票の確認及び決算書の作成等を委託し、日常的なチェック体 制を敷いている。決算書等は、堀明久監事により監査を行っている。 参考: 令和 2 年度 受取寄付金一覧 (令和 2 年 4 月 1 日~令和 3 年 3 月 31 日、敬称略、寄付入金日順)

2020/4/1	野村博之	¥1,000,000
2020/4/15	金子勝子	¥20,000
2020/6/30	福田成康	¥5,061
2020/6/30	亀谷公美	¥1,029
2020/8/18	上総治子	¥10,000
2020/11/10	齋藤政子	¥1,000,000
2020/11/13	渡邉毅	¥100,000
2020/11/30	福田成康	¥3,538
2020/11/30	亀谷公美	¥1,630
2021/3/31	福田成康	¥3,912
2021/3/31	亀谷公美	¥1,190

¥2,146,360

以上